



平成23年8月25日(木)
国土交通省 関東地方整備局
下館河川事務所

記者発表資料

**3. 11 東日本大震災における災害対応功労者への
感謝状贈呈式を執り行います。**

国土交通省下館河川事務所では、平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」の対応において、多くの企業の皆さんに余震が続く中での被災箇所における緊急調査、緊急工事、更には被災地復旧に向けた東北地方整備局管内での緊急排水作業などに、昼夜間にわたる厳しい状況下に於いても、迅速にあたって頂きました。

これらの災害対応にご尽力頂いた企業の皆様に感謝の意を表し、下記の通り感謝状の贈呈式を執り行います。

記

1. 日 時 平成23年8月29日(月) 10時30分から
2. 場 所 下館河川事務所 第3会議室(庁舎3階)
3. 対 象 工事関係(1社)、業務関係(5社)、役務関係(1社)
防災エキスパート(1名)
※詳細については、別紙をご覧ください。
4. 当日の取材は可能です。会場にて受付をお願いします。写真撮影は式の妨げにならないようにお願いします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会
茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、筑西市記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所
〒308-0841 茨城県筑西市二木成1753
TEL 0296-25-2161(代表)

副所長(技術) しんみょう ひであき
新名 秀章 (内線 205)

工物品質管理官 かない まさじ
金井 政治 (内線 302)

『3. 1 1 東日本大震災における災害対応功労者への感謝状贈呈について』

1. 目的

平成23年3月11日に発生した東日本大震災における下館河川事務所管内での災害対応において、多大なる協力・支援により迅速な災害復旧を進める事に大きく貢献されました功労者に対し、その功績に感謝の意を表し、下館河川事務所長より感謝状を贈呈するものです。

2. 感謝状贈呈対象の災害対応内容

①緊急復旧

緊急工事を施工した業者

②被災状況緊急調査

河川の被災状況調査、災害対策、液状化調査を実施した業者

③緊急排水（東北地整の支援）

災害対策用機械（排水ポンプ車）の運搬、操作等を実施した業者

④防災エキスパート

整備局（事務所）の防災活動の支援、自治体の被災状況調査等を行った個人

3. 感謝状贈呈者（資料－1参照）

（1）工事関係 1工事 1社

（2）業務関係 5業務 5社

（3）役務関係 1業務 1社

（4）個人 防災エキスパート 1名

4. 表彰式

表彰式は、下館河川事務所長のほか、所内幹部が出席して、事務所長から3. の7社と1個人に感謝状が贈呈されます。

尚、防災エキスパートの方につきましては、8月9日に関東地方整備局にて開催された「3. 1 1 東日本大震災における協力団体等への感謝状贈呈式」の際に局長表彰の対象となっておりますが、当日ご本人に感謝状は贈呈されておりません。今回、実際に活動して頂いた当事務所にて贈呈いたします。

5. 3. 1 1 東日本大震災における災害対応への功労者に対して、関東地方整備局管内の直轄事務所から表彰（感謝状の授与）を受けた場合には、工事の総合評価落札方式において「企業の信頼性社会性評価」が優位になります。

(資料-1)

3. 11東日本大震災における災害対応功労者への感謝状贈呈 対象者一覧 (平成23年8月29日・下館河川事務所)

①工事関係

番号	感謝状贈呈者	対象案件	表彰対象
1	(株)小葉建設 [茨城県筑西市]	H23糸繰川排水機場外緊急修繕工事 (H23. 6. 21~H23. 8. 31) 3月11日の地震で被災し、その後の度重なる余震、更には台風の襲来により「被災建築物応急危険度判定マニュアル」による判定で【危険】と判定された糸繰川排水機場及び【要注意】と判定された高木川排水機場の緊急修繕工事(黒子出張所管内)	【緊急工事施工】 事務所災害協定による緊急工事

②業務関係

番号	感謝状贈呈者	対象案件	表彰対象
1	大成基礎設計(株)茨城営業所 [茨城県水戸市]	H22十和地先地質調査業務 (H23. 3. 10~H23. 12. 28) 地震後における液状化調査(小貝川管内全域)	【被災状況緊急調査】 事務所の指示により被災状況調査を実施した業者
2	(株)新星コンサルタント [茨城県常総市]	H22宮和田地先測量地質調査業務 (H23. 2. 1~H23. 11. 30) 地震後の河川堤防の地質調査及び応急復旧後の動態観測(水海道出張所管内及び黒子出張所管内)	【被災状況緊急調査】 事務所の指示により被災状況調査を実施した業者
3	(株)地圏総合コンサルタント東京支店 [東京都荒川区]	出水期に向けた堤防対策調査検討業務 (H23. 3. 22~H23. 3. 31) TEC-FORCEに随行しての地震後の被災状況調査及び出水期までの対応策検討(小貝川管内全域)	【被災状況緊急調査】 局協定に基づき、(社)建設コンサルタント協会関東支部から事務所に派遣された被災状況緊急調査業者

番号	感謝状贈呈者	対象案件	表彰対象
4	(株)建設技術研究所東京本社 [東京都中央区]	H23小貝川上流部構造物被災調査設計業務 (H23. 4. 20～H23. 11. 30) 管内樋管の地震の影響について点検 (真岡出張所管内及び黒子出張所管内)	【被災状況緊急調査】 局協定に基づき、 (社)建設コンサルタント協会関東支部 から事務所に派遣された被災状況緊急 調査業者
5	応用地質(株)茨城支店 [茨城県つくば市]	H23小貝川下流部構造物被災調査設計業務 (H23. 4. 20～H23. 11. 30) 管内樋管の地震の影響について点検 (水海道出張所管内及び藤代出張所 管内)	【被災状況緊急調査】 局協定に基づき、 (社)建設コンサルタント協会関東支部 から事務所に派遣された被災状況緊急 調査業者

③役務関係

番号	感謝状贈呈者	対象案件	表彰対象
1	川上建設(株) [栃木県鹿沼市]	H22～H23災害対策用建設機械等保守点検業務 (H22. 4. 1～H24. 3. 31)【年間契約】 【H22年度】 ①3月12日に福島県郡山市に排水ポン プ車2台と作業員6名にて出動。郡 山国道出張所にて24時間待機。3月 15日一旦帰還。 ②3月22日に津波被害の大きい宮城 県に排水ポンプ車2台、作業員6名で 再出動。仙台空港外6箇所を移動して 作業を実施。H22年度内作業日数14 日(昼夜連続)。 【H23年度】 ①前年度から引き続き4月28日まで3 台追加した計5台の排水ポンプ車で 阿武隈川河口部、鳥の海外4箇所を 移動して作業実施。作業日数28日 (昼夜連続)。 ②5月25日排水ポンプ車帰還。 ※別添「概要書(作業状況写真等)」参照	【緊急排水】 事務所の指示により 災害対策用機械の 運搬、操作等を実 施した業者(東北地 整管内での支援)

④個人(局長表彰)

番号	感謝状贈呈者	対象案件	表彰対象
1	防災エキスパート 1名	被災箇所の現地調査や災害復旧に 係わり、自治体などへの技術的指導を 行いました。	事務所の防災活動 の支援、自治体の 被災状況調査等 を行った個人

概要書

業者名	川上建設 株式会社		
技術者名	(対象外)	職種	
対象案件	3. 11東日本大震災における災害対応について【緊急排水(東北地整の支援)】		
工期	(自)	—	(至) —
事務所名	下館河川事務所		
概要	<p>○災害対策用機械の運搬、操作等</p> <p>(1)排水ポンプ車2台の運搬 運搬先:福島県郡山市(郡山国道出張所) 派遣期間:H23. 3. 12~3. 15</p> <p>(2)排水ポンプ車2台+3台の運搬及び操作等 運搬先:宮城県内(仙台空港外6箇所 ~ 阿武隈川河口部、鳥の海外4箇所) 派遣(作業)期間:H23. 3. 22~4. 28(昼夜連続作業)→5. 25帰還。</p> <p>○被災地での排水作業に伴う作業員の派遣</p> <p>(1)作業員6名の派遣 派遣先:①福島県郡山市 ②宮城県内 十数箇所 派遣期間:①H23. 3. 12~3. 15 ②H23. 3. 22~5. 25</p>		
理由	震災発生日に1時間以内で参集。下館河川事務所と川上建設が契約している「災害対策用建設機械等保守点検業務」により、津波被害の大きい宮城県内を中心に排水ポンプ車の運搬及び作業員の派遣を行い、厳しい状況下の中で被災地での排水作業に尽力した。		

活動状況写真



準備作業



排水作業